



SCAN2015研究発表
於: 釧路公立大学
2015年12月12日

ニセコに学ぶ地方創生のあり方 と大学に出来ること

札幌大学

地域共創学群経営学専攻

中山ゼミナール

今風太、荒直明、服部智裕、吉田恭平

内藤禎紀、戸来祐紀、富木雄斗

報告内容

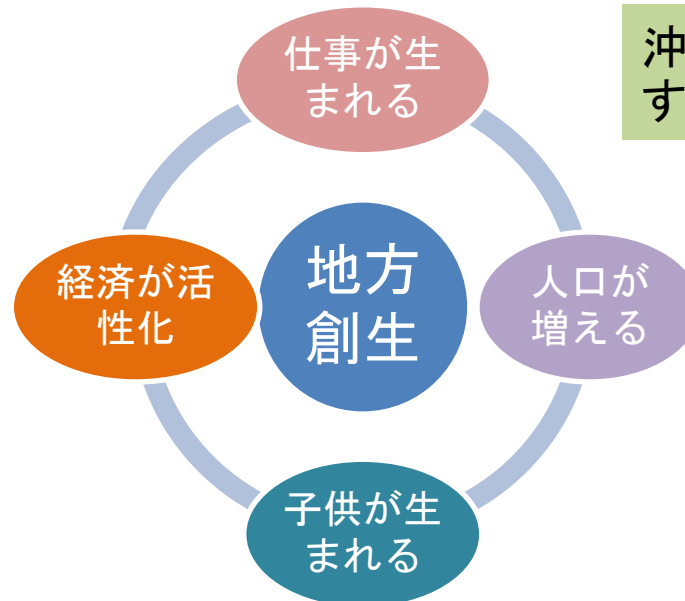
1. 問題の所在
2. 地方創生の分析視角
3. 倶知安・ニセコにみる地方創生
4. 地方大学の地方創生への関わり方
5. 若者の地方循環・定着化に向けた課題
6. 結論と提言

1. 問題の所在

- 本研究は、札幌圏の大学及び、大学生が関われる地方創生のあり方を考察する。
- 倶知安・ニセコの地方創生の取り組みから何を学ぶか？
- 北海道の地方創生事業の中でも外国人の定住化を基礎に地方創生を図り、ひと・まち・しごとづくりの環境整備に取り組んでいる倶知安・ニセコの事例を取り上げながら、大学生の地方創生への関わり方を考察する。

さて、地方創生とは

- 単なる地方の活性化政策ではない。
- 1990年代半ばをピークに既に生産年齢人口減少
- 人口減少の中でも経済成長をしてゆくためのプロジェクト。
- 当面は2015～2019年度の5年間で何をするかの目標設定と具体的施策をまとめたのが「総合戦略」
- 政策5原則（自立性，将来性，地域性，直接性，結果重視）に基づく。



沖縄県や石川県が示す地方創生イメージ

なぜ地方創生なのか？

【これまでのあり方】

従来の地方の活性化というと、企業や工場の誘致が中心。それでうまくいかないと、公共事業で一時的な雇用対策が繰り返されてきた。

・一方、地方も、国の補助金に頼って、用意されたメニューに従って仕事をすることに慣れきっていた。



【原因】

- ①タテ割りやバラマキを排除できるのか
- ②地方の財源を確保できるのか
- ③地方の自主性が発揮できるのか

【新しい視点】

自治体の創意工夫によって、自分たちの地域に必要なことに取り組むには、中央集権的な仕組みを根本的に変えて、地方分権を進める以外にない。

対象選定理由：なぜ倶知安・ニセコなのか？

①地方創生のモデル地域に選定。

倶知安，ニセコはこの地方創生の1つのモデル地域となっている。

②広域札幌圏を前提。

…札幌圏の大学・大学生に出来ることとし，活動領域として札幌からの日帰り圏内を想定。

日帰り圏例…石狩市，当別町，江別市・新篠津市，北広島市，恵庭市，千歳市，小樽市，余市，倶知安，ニセコ等

③地方創生先行地域⇒成功例

…成功例に学ぶ地方創生を重視。

⇒外国人の定住者増，外国人観光客増加

⇒高速道路開設計画，北海道新幹線駅計画…インフラ整備，まちの再開発問題が急務の課題。

④ニセコ・倶知安には大学がない

…高校はあるが，大学がない。地元高校生の地元志向はあるものの，大学進学 of 若者の人材が流出。Uターン，Iターン就職者・定住者が急務の課題。

倶知安・ニセコは地方創生のモデル地域

ニセコは国の地方創生先行型(タイプⅠ)に選定。
地方創生先行型(タイプⅡ)には選定されていない。

地方版総合戦略が策定済みの市町村一覧 (2015年10月30日現在)

【北海道】

函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、網走市、留萌市、稚内市、江別市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、滝川市、深川市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、当別町、新篠津村、長万部町、真狩村、留寿都村、京極町、積丹町、長沼町、栗山町、新十津川町、妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、中富良野町、剣淵町、下川町、美深町、幌加内町、小平町、羽幌町、遠別町、幌延町、美幌町、津別町、清里町、訓子府町、大空町、豊浦町、壮瞥町、白老町、厚真町、洞爺湖町、新ひだか町、音更町、上士幌町、鹿追町、芽室町、更別村、本別町、足寄町、陸別町、釧路町、白糠町、標津町、羅臼町

地方版総合戦略

10月30日まで...72/179市町村:40.2%

12月末まで.....53/179市町村:

3月末まで...54/179市町村:

タイプ I とは？

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(タイプ I :先駆的事業分)
…他の地域公共団体の参考となる先駆的事業に対して国が交付金。

タイプ I :北海道

交付対象事業:68件(6.5%)／交付予定額:1,321,864千円(5.6%)

タイプ I :北海道(市町村レベル)

交付対象事業:64件(7.6%)／交付予定額:1,073,916千円(8.34%)

**※ニセコエリア総合観光情報発信事業：63,094千円
全国初の観光協会の株式会社化等**

交付金対象事業	事業件数 構成比 (%)	市町村分 構成比 (%)	交付額構 成比 (%)	市町村分 構成比 (%)
(1) 人材育成・移住促進分野	22	21.5	19.9	19.3
(2) 地域産業分野	14.6	13.3	16.9	12.4
(3) 農林水産分野	21.5	21.2	23.7	19.3
(4) 観光振興	26.5	24.7	29.2	34.1
(5) まちづくり分野	14.2	10.5	10.5	14.7

ニセコエリア総合観光情報発信事業：63,094千円

観光協会の株式会社化 ⇒ 成功例
理由)

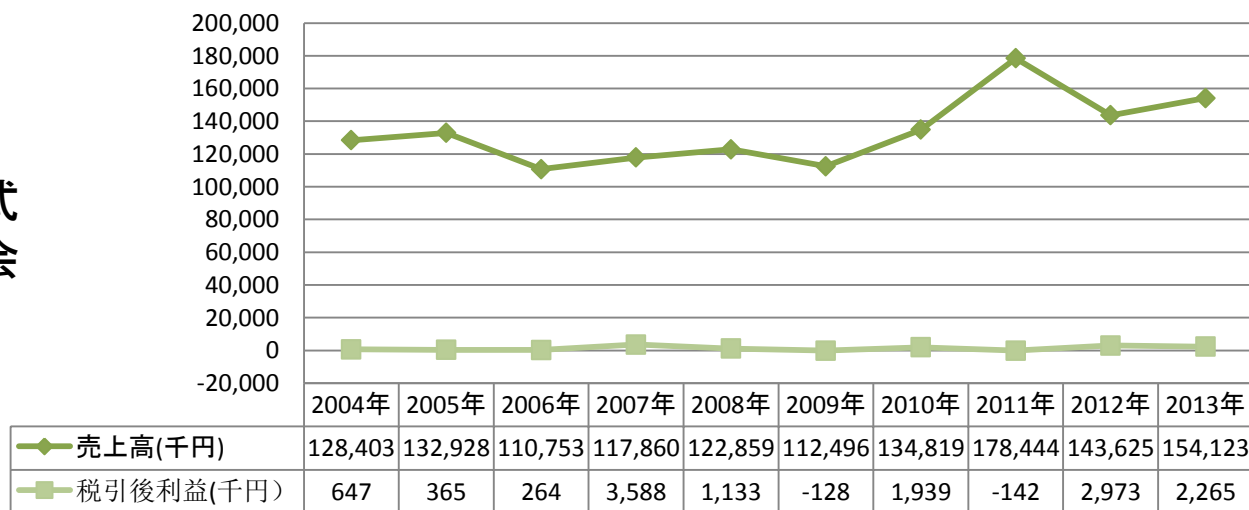
- ①町財政が苦しいため、安定した事業運営を図るために地域経営会社化した。
 - ②市場変化に対応した意思決定システムを構築するため
 - ③行政の枠を超えた地場産業連携を模索
- ⇒(株)ニセコリゾート観光協会を2003年に設立(ニセコ町民50%，ニセコ町50%)

事業概要

- (1) 旅行業…国内外の旅券手配・発券，オリジナル企画旅行商品の開発・販売
- (2) 物販業…ニセコの特産品，農畜産品，酒類の販売，書籍販売
- (3) 委託業…ニセコ町観光案内受託業務，JRニセコ駅の清掃受託，ニセコラジオ局の運営
- (4) その他事業

道の駅「ニセコ
ビュープラザ」は、
全国ではじめて株式
会社化した観光協会
が運営している。

観光協会の経営状況推移(2004-2013)



タイプⅡとは？

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(タイプⅡ)

...平成27年10月30日までに、3つの条件を満たす地方版総合戦略が策定。

- ①適切な重要業績評価指標(KPI)が設定
- ②外部有識者等を含めた検証機関により重要業績指標(KPI)の検証が行われている
- ③地方版創業戦略の策定・見直しについて、住民や産官学金労(労働界)言(マスコミ)等との連携体制を備えていること

交付金対象事業にも重点分配志向を垣間見ることができる。

交付金対象事業	事業件数構成比 (%)	交付額構成比 (%)
(1)移住促進	20.1	18.5
(2)人材育成・確保	27.1	28.1
(3)産業振興	23.2	24.1
(4)観光振興	29.7	44.8
(5)小さな拠点	12.7	12.8
(6)少子化対策	24.8	24.2

北海道の交付対象市町村
70団体...全体の10.1%
交付額...トップの644,450千円
...但し,1団体あたりの交付額は9,206千円と山形(9532千円),
長野(9,446千円), 香川, 長崎,
鹿児島よりも劣る。

分析の枠組み①：地方創生の捉え方

①広域地域の中でとらえる

→中心と周辺，ノードとリンクの関係性で地方創生をとらえる。

…周辺なくして中心はない。周辺があってこそその中心。

…単なる都市間，市町村間の競争的枠組みや単一地域での地方創生は意味がない。

②地方版地方創生に焦点を当てる。

…厳しい財政事情のもと，地方版地方創生は地域により特色があるものと認識。限られた資源・財源をもとに地方創生は行われると理解する。

③地方創生の担い手は誰かに注目する。

…地域住民(内部)のための地方創生なのか？

外部の利用者，支援者の視点は不要なのか。

分析の枠組み② 支援者の視点を中心

図表1 研究の枠組み

	枠組み(1)	全国版地方創生の範囲			
	枠組み(2)	地方版地方創生の範囲			
	対象者	ひとづくり	まちづくり	しごとづくり	価値創造 (強み)
資源の再 分配割合	定住者				
	移住者・移住予定者				
	転出予定者				
	利用者(内外)				
	支援者(内外)				

注1) 定住者は当該地域にある一定期間、定住している者を指す。

注2) 移住者は他の地域から当該地域に移住した者を指し、国内外は区別しない。

注3) 利用者は国内及び海外からの訪来客を指す。短期・中長期の観光客も含む。

注4) 支援者は有識者による助言やボランティア、インターンシップ等、地域経済発展に向けた地域内外の支援者を指す。

注5) 価値創造とは、当該地域の強みを活かし、戦略的・優先的に重視する特定政策を意味する。

※今回は支援者(大学生)の視点に立ち、分析をおこなう。

本研究での仮説

①地方版地方創生の資源再分配は重点志向

…地域財政の限られた財源・資源が前提。

→資源再分配の最適化よりも重点志向になる。（地域の個性重視）

→地域の強みが地方創生の価値創造部分になる。

→地域によってはひと・まち・しごとの基本的な部分にあっても差別的な資源再分配がおこなわれる。

②地域の弱みの部分は放置される。

→地方都市圏大学・大学生の関わるべき領域。

→現状は、夏冬合宿での一時利用、観光、小規模なボランティア実習、短期インターンシップのレベル。これでは貢献度は低い。

→大学生の地方への還流を促進する循環システム(仕掛け)が必要。

③地方創生の主体は地域住民にあるが、

…外部支援者の利活用、協働には密接なコミュニケーションが必要。

大学が果たすべき役割はもっとあるのでは？

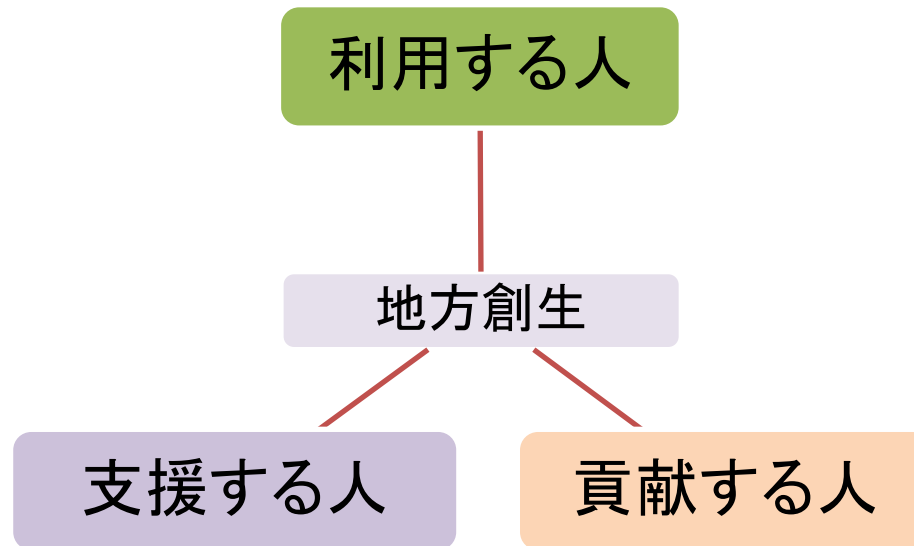
…これまでも地方でのクラブサークルを通じた夏合宿，冬合宿利用はある。

それは「利用者」の視点

…観光客としての訪問＝それも「利用者」の視点

私たちの視点はこれに**支援者**を加える。

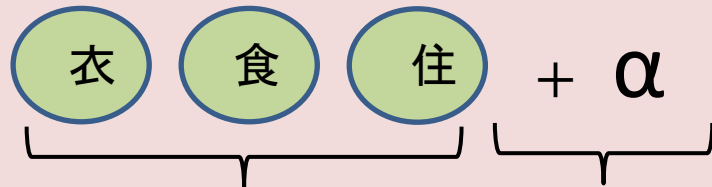
学生にもできる「地域社会貢献としての地方創生」があると考える。



②地方版地方創生に焦点をあてる

→国の地方創生政策と地方の地方創生政策の相違を理解するために次のように認識する。

地方創生＝ひとづくり・まちづくり・しごとづくり
...地方創生は十分条件。価値創造の部分



基本的生活に不可欠
なもの＝必要条件

価値創造＝付加価値：
十分条件⇒地方創生

限られた地域財源や地域資源の中で、どうやって地方創生を行うか？

⇒強みを活かした価値創造，十分条件の創出

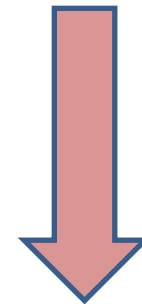
これが「**あるべき地方版地方創生**」
と考える。

これまでの行政サービスを維持(必要条件)した上で、地域の強みを強化し、地方創生に備える取り組み。

もっとも、ひと・まち・しごとにも優先順位が重みづけは異なるはず。

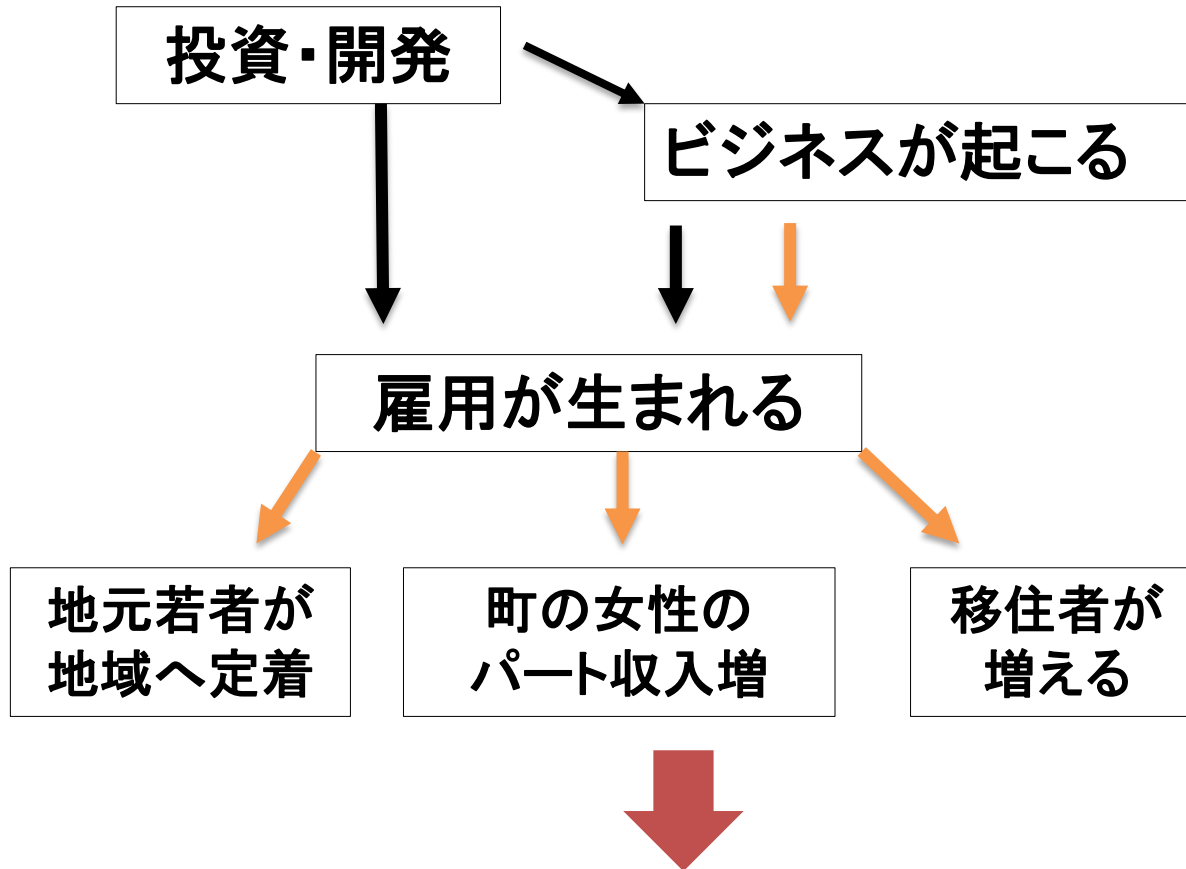
例)

ひと：○，まち：◎，しごと：△



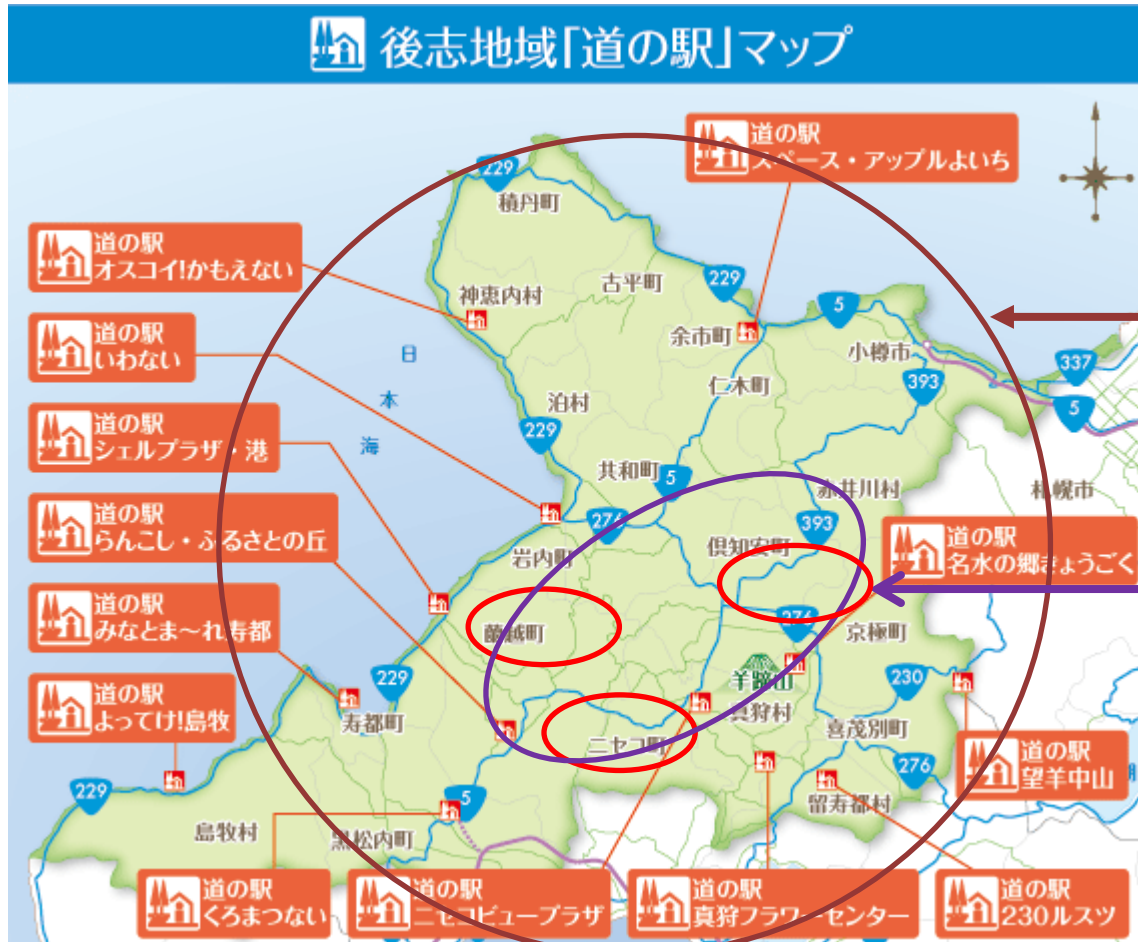
学生が関われる部分は地方創生で置き去りにされるマイナス部分(弱みの部分での地域社会貢献にあると考える。

倶知安・ニセコの地方創生の考え方(1)



- ★消費が増える（食料、衣料、燃料、農産物、建設、医療、飲食、不動産 多々）
- ★町の税収が増える
- ★倶知安・ニセコの経済圏では限界がある。広域体制・広域連携の発想

広域経済圏構想により、倶知安、ニセコの魅力を拡大。



広域連携
エリア

広域体制エリア
(倶知安、ニセ
コ、蘭越)

なぜ広域体制なのか

- ①ニセコのパウダースノーだけでは外国人観光客の定着化，移住外国人の地域満足度は得られない。地域連携による価値創造が必要。
- ②倶知安，ニセコ，蘭越の地域資源を有効活用
- ③また，将来計画として，**倶知安に北海道新幹線駅設置計画（札幌⇄倶知安間の所要時間はなんと15分）**，**高速道路の開通予定計画**，**蘭越に空港建設計画**。

①交流促進エリア

…倶知安⇄ニセコ⇄蘭越

②主たる滞在促進エリア

…モイワスキー場，ニセコアンヌプリスキー場，東山スキー場，グランひらふスキー場，花園スキー場

③滞在促進エリア

…五色温泉，湯本温泉，新見温泉，薬師温泉，湯の里温泉，黄金温泉

倶知安・ニセコの地方創生(2)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
基本構想12年											
前期基本計画(6年)											
						後期基本計画(6年)					
第1期実施計画(4年)				第2期実施計画(4年)				第3期実施計画(4年)			
	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	ローリング	
			評価	前期総括	後期策定			評価			評価
										全体総括	
										次期総合計画 策定	

基本方針

- ①住民の参加・参画による自治の確立
- ②一人ひとりを大切にすまち
- ③子どもが心身ともに健やかに育つまち
- ④やる気いっぱいのみち
- ⑤人と人とのつながりのあるまち
- ⑥安全に暮らせるまち
- ⑦次の世代に引き継げるまち

事業構想

- 1)プレミアム商品券発行事業
- 2)子育て世帯商品券事業
- 3)倶知安町総合戦略策定事業
- 4)国内外観光プロモーション事業
- 5)定住化促進のための住宅リフォーム支援事業
- 6)「ことばでつながる」まちづくり事業

倶知安・ニセコの地方創生の考え方(3)

すべて順調なのだろうか？ 倶知安・ニセコの地方創生には死角はなし？

北海道新幹線，高速道路のインフラ整備の一環で仕事生まれる。

外国人観光客増によりペンション，ホテル等の投資活発化。仕事生まれる

仕事生まれる

観光需要の増加により，関連施設や生活関連施設投資が増えている

経済が活性化

地方創生

人口が増える

外国人の移住。世帯数の増加。観光地の魅力向上により，移動人口，観光人口増加。

子供生まれる

???

ニセコ・倶知安の地方創生の弱点

	倶知安町	ニセコ町	蘭越町
人口	15,297人	4,893人	5,334人
世帯	7,600世帯	2,353世帯	2,372世帯
外国人住民	275人	125人	15人※1

※1は2010年のデータによるもの

2014年時点データ

人口減少の一方で世帯数は増加が倶知安町の特徴。

外国籍住民数の増加が寄与するものの、抜本的な少子化策は不透明。

⇒増加する外国人観光客，同定住者の増加により，語学堪能な若者を求めている。日本の大学卒業程度の語学力では通用しないと考えている。

①**生産年齢人口の減少に歯止めがかかっていない。**

②**長期インターンシップの実施を札幌圏の大学に呼びかけているものの…**

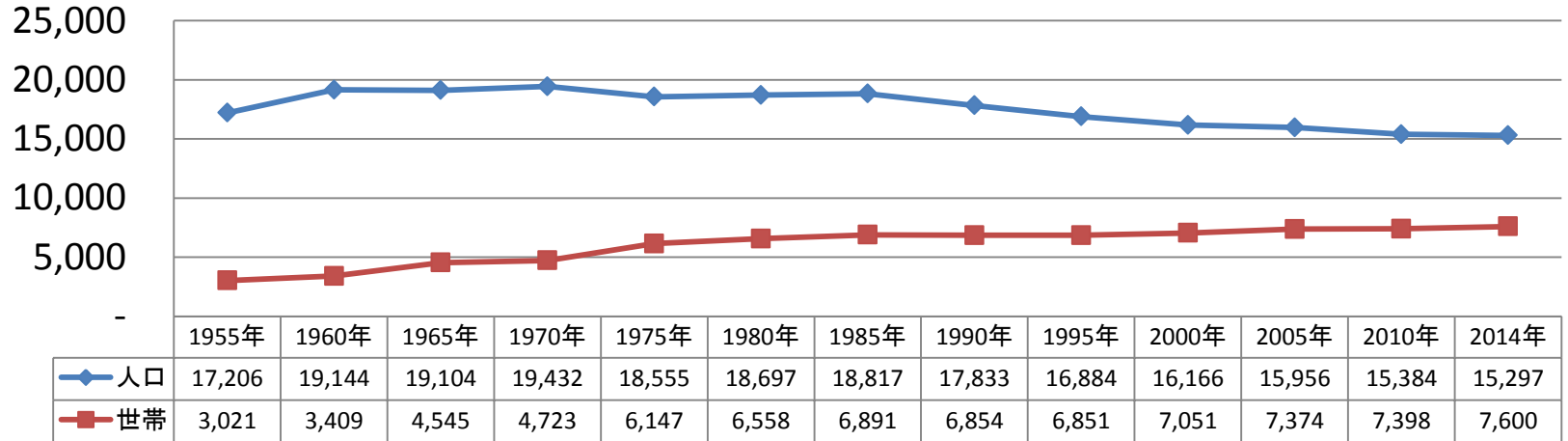
「ニセコ・ひらふ観光インターンシップ」プロジェクト。

⇒対象が外国人留学生。期間は8月夏季休暇の15日間。座学・体験実習がメイン。

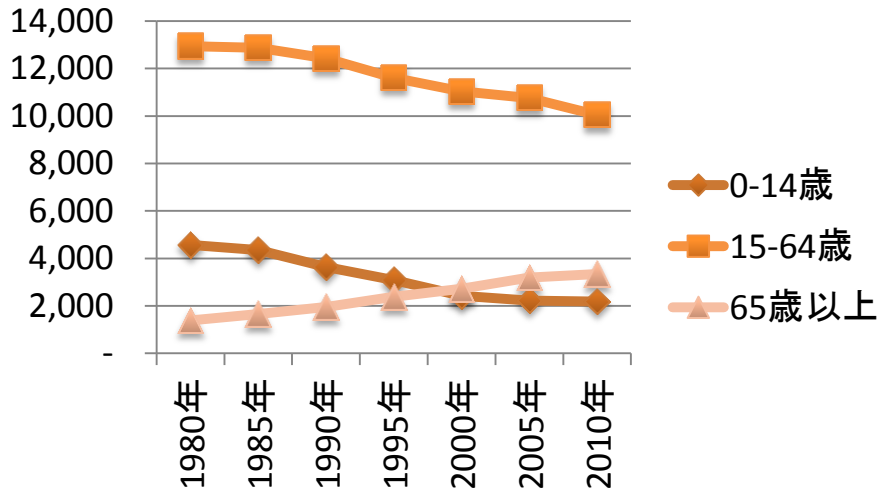
③**道外からの学生インターンシップを受け入れるものの，実際にはニセコエリアでの居酒屋でのアルバイト。⇒語学向上にはつながるが，それ以上のものはない。**

倶知安の抱える問題

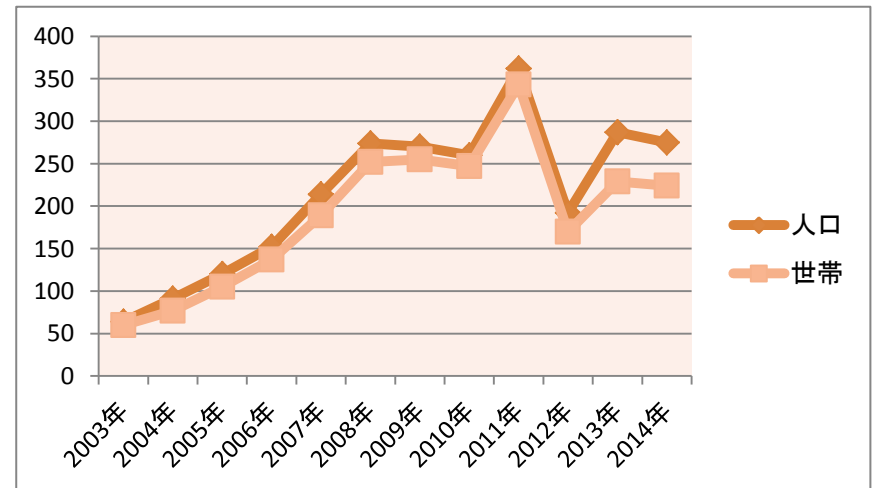
人口・世帯推移(倶知安)



生産年齢人口の推移(倶知安)

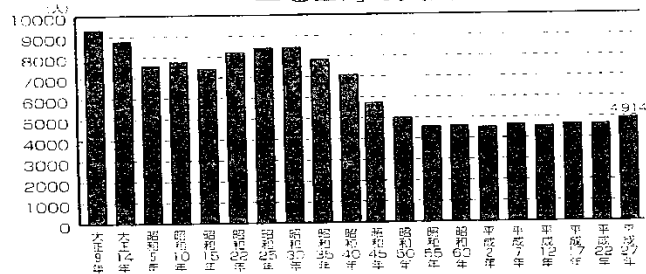


外国籍住民数の推移

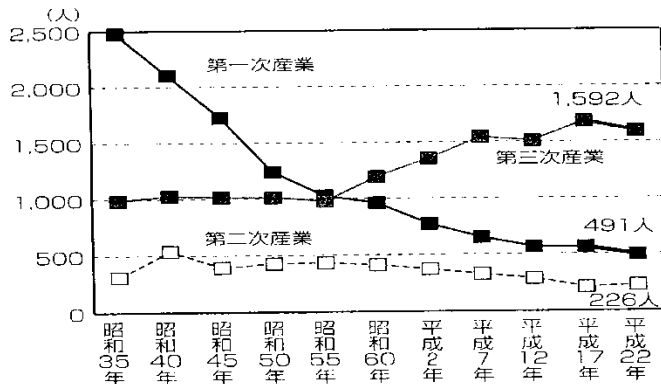
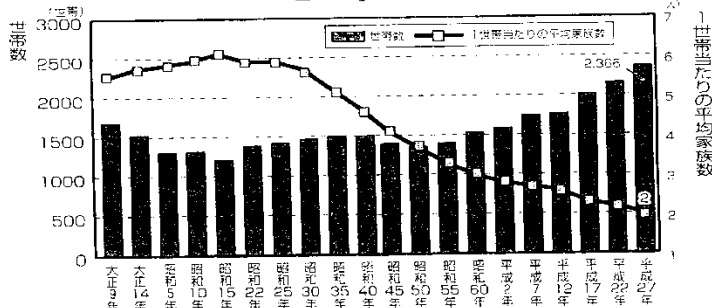


ニセコの抱える問題

ニセコ町の人口



ニセコ町の世帯数



ニセコも倶知安同様，人口減少の一方で世帯数は増加。

※地域福祉予算についても消極的。

①子育て支援センター「おひさま」の運営
平成27年度：291万円(前年度371万円)

②学童保育所の運営
平成27年度：873万円(前年度796万円)

③子ども・子育て支援(会議費)
平成27年度：6万円(前年度107万円)

④児童手当の支給
平成27年度：7,961万円(前年度8,138万円)

※国負担…5,515万円

※北海道負担・・・1,222万円

※ニセコ町負担・・・1,224万円

ハローワークの求人件数

倶知安町	196
七飯町	132
八雲町	126
岩内町	126
栗山町	115
余市町	112
長沼町	73
当別町	64
ニセコ町	61
蘭越町	19

2015年11月現在データによる.
参考: 札幌市...12,138件, 釧路市...1195件, 富良野市...194件

倶知安町は、町村レベルでは求人件数はトップクラスにあるものの、若者を雇用する上ではあまりに件数は少ない。ニセコ、蘭越に至っては低レベル

倶知安のハローワークにみる仕事内容

清掃業務	24	場内作業員	3
一般事務	24	自動車整備	3
ホールスタッフ	20	販売員	3
調理スタッフ	14	警備員	3
店舗運営	11	倉庫作業員	3
携帯電話販売	10	農機機械整備	3
送迎運転手	9	除雪作業員	2
ホテル・予約業務	8	菓子製造	2
カラオケスタッフ	8	児童指導員	2
配送業務	8	不動産販売・管理	2
施設管理	7	経理アシスト	2
調理師	7	物件管理アシスト	2
フロントスタッフ	6	臨時保育士	2
マーケティング事務	6	現場管理技術者	2
食品・販売	5	通訳	2
調理補助	4		
ホームヘルパー	4		

倶知安・ニセコの地方創生から学ぶべき点

地方創生の項目	重視の度合い	評価
ひと	子育て支援がやや弱い，若者・生産年齢人口を増やす取り組みが弱い。その一方で外国人定住者増など一定の成果	△
まち	将来計画に明るい都市再生計画の展望があること，また外国人観光客増，定住者増を背景に，投資が活性化していく展望がある。	◎
しごと	上記理由と同様。派生効果として建設需要やインフラ整備投資が増え，しごとが増えている。町ベースでのハローワーク件数にも裏付けされる。	◎
価値創造	かつてのパウダースノーに偏ったニセコの観光魅力から夏はラフティングやカヌーなどの観光資源の開発，観光協会の株式会社による道の駅の収益力改善，町民に開かれた行政の取り組みなど地域住民による価値創造が生まれやすい。一方で外部の支援者の利活用はもっと工夫の余地がある。	○

4. 地方大学の地方創生への関わり方

- 地方の人口減少と高齢化，生き残りをかける地方大学や自治体，これらの問題を解決するために、地方大学の活性化とともに、地域連携強化を図り，地方への人の流れを創出する試みがはじまっている。
- 宮崎大学
 - (1) 地域志向の教育，地域活性化・学生マイスター制度の創設
 - (2) 社会人の学び直し教育⇒6次産業化ビジネスに対応
 - (3) 地域ニーズに対応した研究：地域ブランドの開発に向けた基盤整備
 - (4) 食と健康分野における社会貢献⇒主体的に地域課題に取り組む学生活動支援の強化
- 高知大学
 - (1) 地域連携推進センターの創設(2014年)：定期的な協議会，連絡会，地域情報の共有化システムの構築
 - (2) 県内7ブロックに各地域の地域産業振興の地域コーディネータを常駐化。
 - (3) 地域協働学部を中心に地方創生の自発的な活動を企画・推進する人財を育成。

北海道の人口動態

(一社)北海道総合研究調査会理事長 五十嵐智嘉子氏の研究

①人口の増減は、移動(転入・転出)、出生・死亡の3要素の組み合わせで決まる。

②北海道の若者層の流出の要因(4のタイプ)

タイプ1…周辺地域からの人口流入が多く、東京圏への人口流出もともに多いが、流入人口を上回っている。(例:札幌市)

タイプ2…周辺地域からの人口流入があり、札幌や東京圏等への流出もあるが、それらがほぼ均衡している。(例:帯広市)

タイプ3…周辺地域からの人口流入があるが、札幌や東京圏への流出が多く、結果、人口流出に歯止めがきかない。(例:旭川市, 北見市)

タイプ4…周辺地域からの人口流入がほとんどなく、札幌や東京圏への流出が多くなっている(例:函館市, 釧路市)

⇒倶知安町, ニセコ町もこのタイプ4に相当(函館・釧路との相違は、両町には大学がない点。この点は深刻。)

		小都市および町における大学	
		有	無
地元志向	有	地元就職の可能性高い 雇用機会が必要	地元就職の可能性はあるものの、有能な人材の獲得が課題となる 有能な人材を引き付けるしごとづくりが必要
	無	地元就職可能性は低い 魅力ある雇用機会が必要	地元就職の可能性は極めて低い 魅力ある雇用機会、ビジネスチャンスのほか、 ひと・まち・しごとのバランスのとれた地方創生が不可欠

※小都市...旭川, 函館, 帯広, 釧路, 稚内, 苫小牧, 富良野等々

北海道の人口動態

北海道の若者層の流出に解決策はあるのか？

タイプ1 …周辺地域からの人口流入が多く、東京圏への人口流出もともに多いが、流入人口を上回っている。（例：札幌市）

⇒地方へのインターンシップ事業の拡大

タイプ2 …周辺地域からの人口流入があり、札幌や東京圏等への流出もあるが、それらがほぼ均衡している。（例：帯広市）

⇒地場産業と地元大学，小都市圏大学との連携が有効

タイプ3 …周辺地域からの人口流入があるが、札幌や東京圏への流出が多く、結果、人口流出に歯止めがきかない。（例：旭川市，北見市）

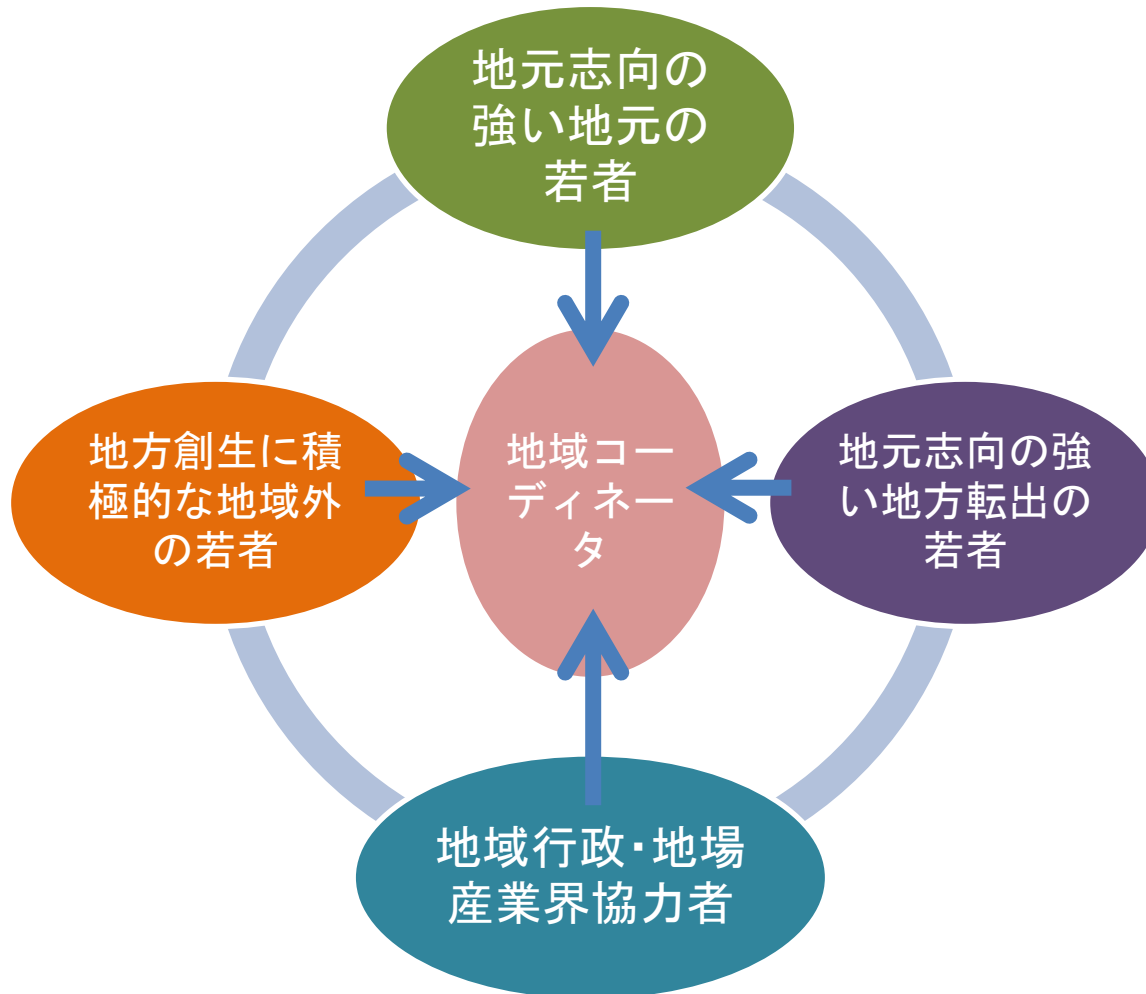
⇒地場産業と地元大学との連携が有効。

タイプ4 …周辺地域からの人口流入がほとんどなく、札幌や東京圏への流出が多くなっている（例：函館市，釧路市…倶知安町・ニセコ町）

⇒大学のある市は、地場産業と地元大学，周辺地域大学，小都市圏大学との連携が重要。

⇒当該市，当該町に大学がない場合には、地場産業と周辺地域大学，小都市圏大学との連携が重要。⇒「若者の循環型交流システム」が必要。

若者の循環型交流システムをどう作ればよいのか ～私たちが考える理想論：1大学の枠を超える～

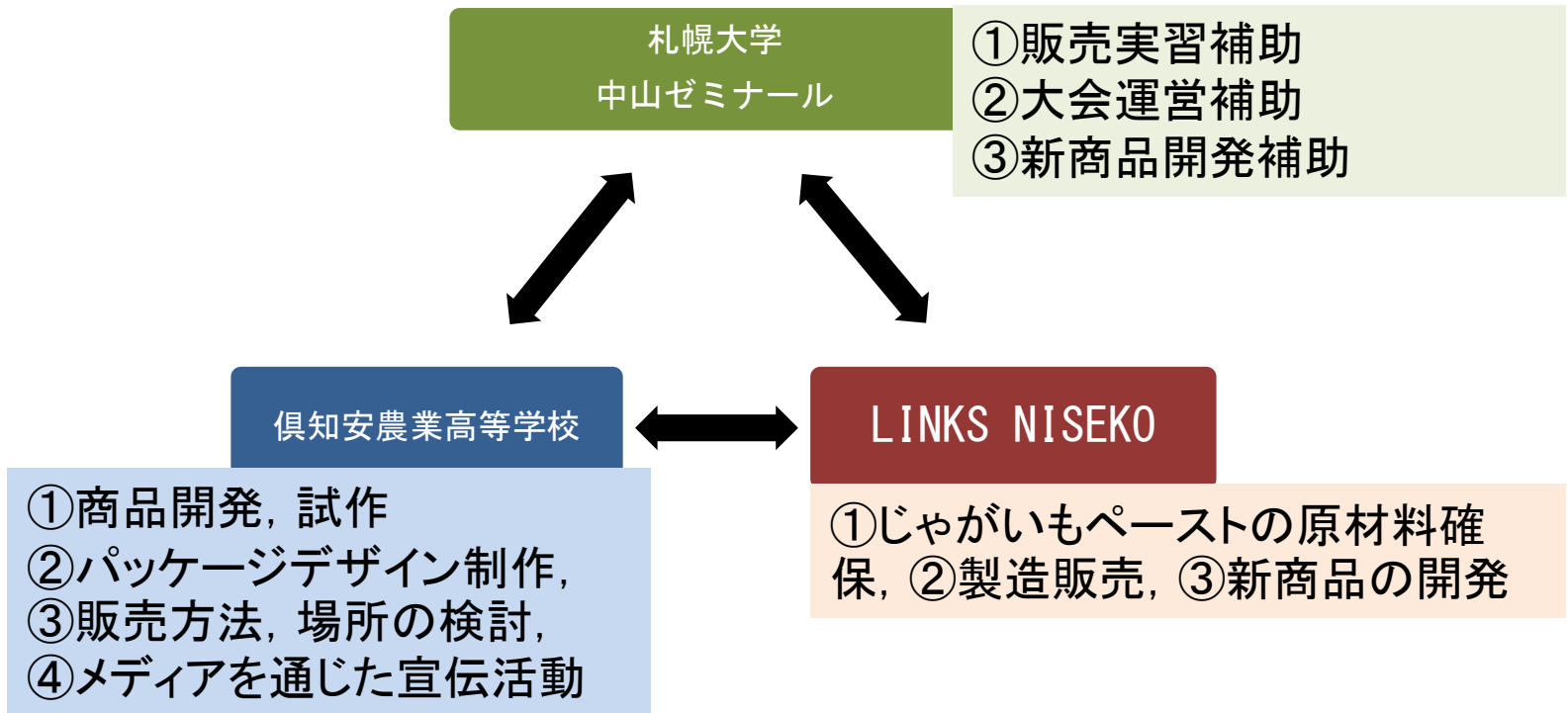


- ①それぞれの若者が交流できる場。
 - ②若者と地元行政・産業界のパイプ役が必要
 - ③地元で必要とされる人材や地域課題を地域内外の教育界に情報発信。
 - ④地域外の若者のニーズを反映したまちづくり設計に意欲的な地場関係者が必要
 - ⑤若者が主体となれる地方創生の環境づくり
- ↓
- 幾世代に渡っての若者の循環型交流ができる

倶知安の「ニセコ・モンテバー」プロジェクト

中山ゼミの参画は平成27年度(2015年)からスタート

- ①外国人観光客への販売実習補助⇒外国語堪能学生を活用した販売実習(グローバルアクションプログラム)
- ②主要販売イベント: 自転車レースでの大会運営補助(年3回)
- ③ニセコ・モンテバーの新商品開発への共同参加



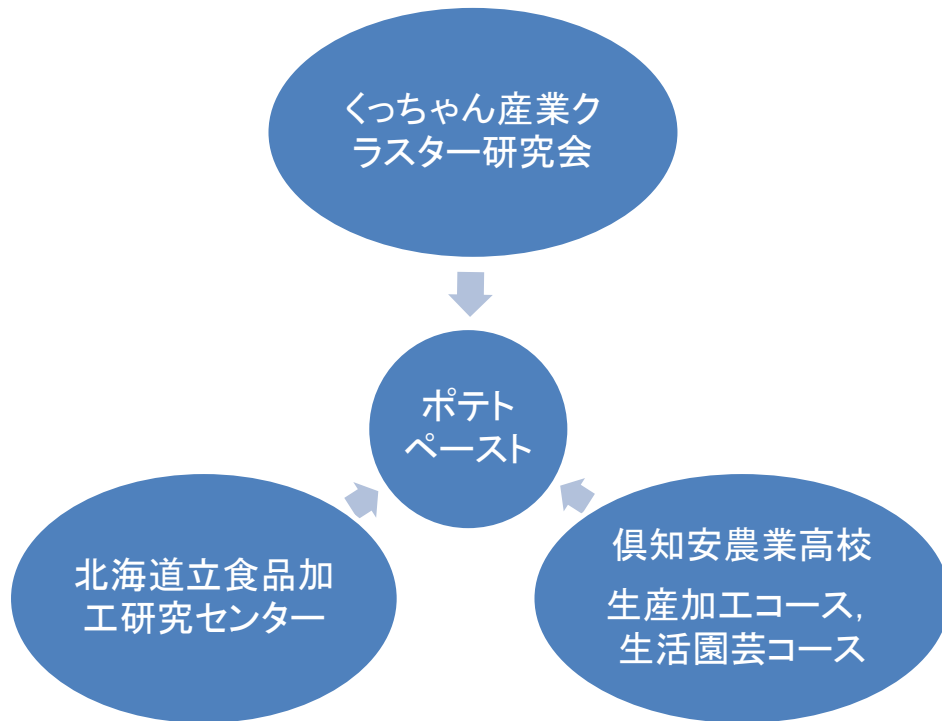
若者の循環型交流システムをどう作ればよいのか

本学はまだ、若者の循環型交流システムを構築出来ていないが、現状の事例報告

札幌大学の地方創生への関わり方

- ①道内各地からの入学者の多い札幌大学の特性を活かす。
- ②海外留学組，海外留学志向，国際交流に関心ある学生に参画機会を与える。(GAP=Global Action Programを組織化)
- ③当事者意識の醸成⇒支援者としての意識
…地域の環に入り，地域との対話：困りごとへの参画
- ④札幌圏の日帰り圏での継続的活動を模索。
- ⑤背伸びしないで出来ることから始める。
- ⑥改善と進歩を前提にスキルアップする。
- ⑦2～3年生を中心に経験値を高め，1年生にも情報発信。

倶知安の「ニセコ・モンテバー」プロジェクト



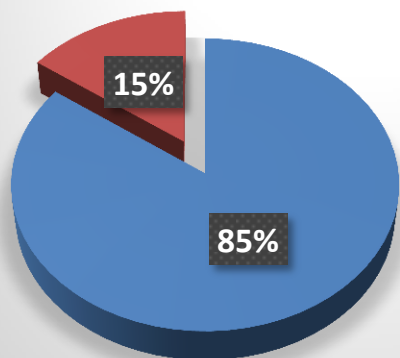
原材料は倶知安産の規格外じゃがいも。

⇒特許製法を使い、三社間の研究開発。

⇒倶知安農業高等学校にてポテトペーストを活かした食品開発と町興しプロジェクトがスタート(平成24年)

⇒2年目の平成25年に『Niseko monte bar』が商品化。

・・・アウトドアを楽しむ人への安心安全な食材を活かしたスポーツバー。



■ 正規生産量

■ 規格外

規格外のじゃがいも・・・1t
で約2,000円。年間5250t
＝約4千万個が規格外
品。約1千万円⇒資源の
浪費

倶知安の「ニセコ・モンテバー」プロジェクト

ポテトペーストとは、ふかしたじゃがいもをつぶし、2種類の酵素（アマノビオザイムA，アマノトランスグルコシダーゼL）を作用させて裏ごしし、ペースト状にしたもの。

なぜニセコ・モンテバーなのか？

倶知安の魅力あるブランド商品の商品開発を行なう過程でブランドイメージ調査を実施。その結果、夏冬問わずアウトドアスポーツのイメージが強いことがわかり、「アウトドアを楽しむ方々に食べてもらえるもの」、「ポテトペーストをはじめとした安心安全な食材を使用」することをコンセプトに、スポーツバーの商品化がはじまった。観光客には倶知安もニセコの一部にしか思われていない。

中山ゼミでは地域振興を兼ねたこの資源有効活用の商品開発プロジェクトに多大な感銘と共感を得て、参画。

倶知安の「ニセコ・モンテバー」プロジェクト

地産食材

ポテトペースト，規格外人参，**きな粉**，こめばせ，バター，ごま油，卵黄，小麦粉，砂糖，アーモンドバター，小豆あん，プルーンを使用。（ごま油，卵黄，アーモンドバター以外は道内産。**赤字**は倶知安産）
幾多のレシピ変更を通じて平成26年1月1日に発売開始。

平成26年度当初は19店舗で販売⇒平成27年度4店舗で販売。

⇒平成26年度販売実績＝10,000本
1本210円の高価な栄養補助食品

その他のポテトペーストを活かした名産品

- ①ぽてぷりん
- ②ぽてアイス
- ③ぽてドーナッツ
- ④ぽて子さん
- ⑤Niseko monte bar
- ⑥ガレットde男爵
- ⑦男爵プリン
- ⑧じゃがだん





倶知安・ニセコで夏合宿実施(8/2-8/5)

◆ニセコ・ヒルクライム【自転車レース】にてニセコ・モンテバーの販売実習
⇒外国人観光客や日本人のレース参加者にモンテバーの宣伝・販売
⇒外国語堪能、海外留学組の学生を投入／販売実習に関心のある学生を投入(参加人数:8名)

- ①カウ・パレード企画者, グレッグさんとの対談
- ②ニセコ町長, 片山健也様との地方創生対談
- ③北海道中小企業家同友会, しりべし・小樽支部経営者の懇談
- ④ニセコ・モンテバーの新商品開発コラボ会議
- ⑤道の駅「ニセコ」にて, ニセコ・モンテバーの認知度調査実施
- ⑥ラジオニセコの見学及び取材
- ⑦ニセコリゾート観光協会への取材
- ⑧倶知安農業高等学校にて合宿成果の発表会・反省会

5. 若者の地方循環・定着化に向けた課題(1)



北海道中小企業家同友会しりべし小樽支部の
経営者，ニセコ町長との対談。

- ① 定期的な情報交流
- ② 綿密な打ち合わせ
- ③ 臨機応変な対応
- ④ 当事者意識での参画
- ⑤ 産業界・行政との交流
- ⑥ 飲み会・親睦会

⇒受け身のインターンシップでは
実現しえない。

…単なる単位化では意味がない

⇒売込み型のインターンシップで
なければ相手にしてもらえない。

⇒Give & Takeの関係性と事業参
画での協働が重要。

5. 若者の地方循環・定着化に向けた課題(2)

①継続的活動に向けた仕掛けづくり

⇒ボランティア，インターンシップの単位認定化だけでは受け身学生が増えるだけ。

⇒当事者意識，自発性に基づくインターンシップメニューが必要。

②地域コーディネータの設置の必要性

⇒地域の情報を常時，入手，意見交流，企画への積極的参加の機会になる。

③様々な機会をとらえて，地域コーディネータ（教員，地場関係者のみならず，学生も視野）人材育成が不可欠。

⇒大学OBや教員主導ではなく，現学生の経験値を高める工夫

④地域協力者との連携により，日帰り圏インターンシップではなく，現地での中短期滞在型のインターンシップ企画を構築する必要がある。

5. 若者の地方循環・定着化に向けた課題(2)

中山ゼミの計画プロジェクト

① 倶知安・ニセコ地方創生支援プロジェクトの継続

- (1) ニセコ・モンテバーの販売支援
- (2) 自転車レース大会の運営補助
- (3) 蘭越・ニセコでの夏季農業実習インターンシップ

② 他大学との合同ゼミ合宿・合同研究の実施

(1) 夏合宿は企画倒れ⇒冬合宿は実行。(小樽商科大学, 札幌国際大学, 京都大学等)

…昨年度は名古屋学院大学, 九州産業大学, 小樽商科大学, 札幌国際大学による5大学合同ゼミ実施。

…札幌圏大学ゼミとの連携を強化と道外大学との連携

③ 海外留学希望学生を集めた地方創生プロジェクトの推進

…国際交流に関心のある学生主体の地方創生事業への関わり

6. 結論と提言

① **大学生が主体的に積極的に関われる地方創生事業の拡大が不可欠。**

⇒ 学生は当事者意識を持つことと、地域コーディネータのスキルアップが必要。

⇒ 地域は、大学生の積極的活用と機会を提供する必要がある。

② **地方の地方創生の進め方にはタイプがある。**

⇒ 大学のある地域、大学のない地域／若者の地元志向の強い地域、地元志向の弱い地域

⇒ ひと・まち・しごと領域への重点志向／価値創造分野の領域（観光、食、文化等）…タイプに応じた支援形態があるといえる。

③ **地域産業及び地方大学間の連携強化、価値創造の取り組みが重要。**

⇒ 単独の大学による地域社会貢献レベルでは、地方創生への関わりには限界がある。理想論は「若者の循環型交流システム」

参考文献

受田浩之「地方創生における大学の役割―課題先進県の再生を目指して―」『産業立地』日本立地センター, 2015年1月号

五十嵐智嘉子「北海道からの人口流出―産業構造を中心とした背景」『地域開発』日本地域開発センター 2015年8・9月号 vol. 609

山崎史郎「「地方創生」に向けた国の取組について」『地域開発』日本地域開発センター―2015年8・9月号, vol. 609

北海道倶知安町『第5次倶知安町総合計画 基本計画編 後期2015-2019』北海道倶知安町 2015年

北海道倶知安農業高等学校『地域との歩み ポテトペースト普及への取り組み』2014年



ご清聴有難うございました